

『It's my choice 私の選択 教師用マニュアル』
スティーブ&マリット ケース

サンプル版

これは完成版ではありません。
お試し用にのみお使いください。



探し求める (聖所)

イツツ・マイ・チョイス

4



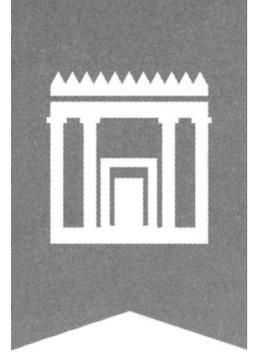
探バプテスマガイド概要 4 探し求める（聖所）

導入：神様の絵を描く。

- I. 聖所の目的は、神様が彼らと共にいることを神の民がわかるためでした（出エジプト記 25 章 8 節）。
- II. 地上の聖所は、天の聖所に類似していました（ヘブライ人への手紙 8 章 1、2、5 節）。
 - A. 地上の聖所が建てられ、神様は、神の民と共に住むことができました。
 - B. 地上の聖所の象徴が意味するもの。
- III. 天の聖所は、2300 日（／年）の後に「清められます」（ダニエル書 8 章 14 節）。
 - A. 1844 年 10 月 22 日、ニュー・イングランドでの出来事。
 - B. ダニエル書 8 章 14 節に書かれている預言。
 - C. 聖所＝天が清められる＝元の状態に戻す／正しくする、裁き
- IV. イエス様は、神殿を清められました（マルコによる福音書 11 章 15～17 節）
 - A. イエス様は、公生涯の初めと終わりに、神殿（宮）を清められました。
 - B. 荒野の聖所と、イエス様の時代のヘロデの神殿を比較してみましょう。
 - C. イエス様ご自身が、新しい聖所。
- V. 二人または三人がイエス様の御名によって集まっているところには、イエス様が彼らと一緒に
おられるのです（マタイによる福音書 18 章 20 節）。
 - A. 現在、聖所はどこにあるでしょうか？
 - B. 現在、イエス様／神様はどこにおられるでしょうか？
 - C. イエス様は、人や場所を聖別されました。

結論：神様は、私たちと一緒にいたいと願っている。

バプテスマガイド 要点4 探し求める（聖所）



聖句

1. 出エジプト記 25 章 8 節：神様は、ご自分の民と共にいるために、モーセに聖所を作るように指示されました。
2. ヘブライ人への手紙 8 章 1、2、5 節：地上の聖所は、天の聖所に類似しています。
3. ダニエル書 8 章 14 節：天の聖所は、2300 日（／年）の後に「清められます」。
4. マルコによる福音書 11 章 15～17 節：イエス様が地上におられたとき、神殿（宮）を清められました。
5. マタイによる福音書 18 章 20 節：イエス様の御名によって集まっているところには、イエス様ご自身がおられます。

決心の時間

あなたがどこにいようと、イエス様の面前で生きましょう。

神様が、私たちの内に住むために、私たちを聖所としてくださるよう、祈りましょう（歌いましょう）。

具体的に（ステージ3の子どもに適切に）

「かくれんぼ」をする。

「神様の絵」

神様の絵を描いてみましょう。

幕屋の絵図。

荒野の幕屋の各部分が示すところに、名前を付ける。

「香の光景と匂い」

天の神に昇って行く私たちの祈りの象徴であるお香をたいて香りと煙を見る。

キリストが地上におられたときのヘロデの神殿の絵図。

「私の友だちを見ましたか？」

生徒たちの知らないあなたの友だちの写真

「聖所」についての讃美歌を歌う。



バプテスマガイド 内容4 探し求める（聖所）

用意するもの

- ・聖書、生徒ワークブック、ボールペンか鉛筆。
- ・神様の絵を描くための紙と色鉛筆。
- ・他の生徒が知らないあなたの友だちの写真。

導入

アダムとエバは、エデンの園で神様と顔と顔を合わせて話すことが出来ました。しかしこの世界に罪が入ってから、人間は、これまでと同じようには神様を見ることが出来なくなりました。神様が直接私たちと話し、顔と顔を合わせることはできなくなりましたが、神様は他の方法で、ご自分がどんな方であるかを教えようとされました。

かくれんぼをしたことがあるでしょうか？ 神様は隠れていて、私たちは必死に神様を探している、と考える人がいます。でもそれは違います。神様は、エレミヤを通して私たちに言われました。「わたしを尋ね求めるならば見だし、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしに出会うであろう」（エレミヤ書 29 章 13、14 節）。あなたはこれまで、心をつくして神様を尋ね求めましたか？ それとも、中途半端に求めましたか？ おそらくあなたはあまり本気ではなかったはずです。

遊び：かくれんぼ

大人も子どもも楽しめるゲームがありますね。かくれんぼです。今からみなさんと一緒にかくれんぼをしましょう。一人の人が目を閉じて数を数えます。その間に他の人は隠れます。数を数えた人が、隠れた人たちを「探して見つける」のです。さあ、はじめましょう。

（リーダー／先生はこの学びのために、実際に生徒たちとかくれんぼをすることもできます。あるいは、かくれんぼについて話すだけでも結構です）

途中説明：誰かを探すことは、簡単なときもあれば、難しいときもありますね。あなたにとって、神様を見つけることは簡単ですか？ それとも難しいですか？ 神様は離れた場所に隠れていると思いますか？ それとも簡単に見つけられる場所にいると思いますか？ 私たちはいったいどこで神様を探したらよいのでしょうか？

神様を捜すときに、目で見つけようとするのではなくて、神様の声を聞こうとするのが良い方法かもしれません。あなたは、神様の声を、先生の声を聞くのと同じように聞いたことがありますか？特別な人はそのような経験があるかもしれませんが、ほとんどの人はないと思います。でも、神様はある方法を通して私たちにメッセージを送ることがあります。神様が、私たちに話しかけてくださる方法を思いついた人は教えてください。

(生徒に答えてもらいましょう。答えの例は、聖書、自然、両親、学校の先生、静かな小さな声、教会で先生から聞いた話、礼拝説教、など。)

遊び：神様の絵

ワークブックの1ページ全部を使って、神様がどういうお方であるか、想像して描いてみましょう。先生もみなさんも、神様の顔を直接見たことがないので、神様の「似顔絵」を描きましょう、とは言っていません。みなさんの想像力を使いましょう。有名な画家たちは、神様の顔を描くことに挑戦してきましたし、みなさんもそのうちの幾つかを見たことがあるはずです。今日は、みなさんが画家となって描く番です。今から6分～8分時間がありますから、まずは描き始めてみて、細かいところはあとで描くようにしましょう。さあ、あなたの想像する神様の顔を描いてみましょう。

(ほとんどの生徒は、神様を描くことに遠慮がちです。幼い子どものほうが簡単に出来るかもしれません。生徒を励まして、神様が自分にとってどんなお方か、想像力を発揮させましょう。絵を描き始めたなら、励ましましょう。これは美術の能力だけでなく、生徒にとって神様の存在を自覚させることになります。時間が来たら、生徒同士お互いに見せ合ひましょう。さらに描くために時間を取るか、あるいは後で描いてもOKです。)

途中説明：私たちが描く神様の絵は、これまで私たちが経験したことや、他の人から聞いた情報に基づいています。神様の絵を上手に描こうとしても、どこかが違っていたり、思ったのとは全然違う姿になってしまうかもしれません。それでも描けば描くほど、神様はご自分がどんなお方であるかをさらに教えてくださいます。神様の絵をこれからも描き続けましょう！

この世界に罪が入ったとき、罪は私たちと神様の間を切り離しました。イエス様が、私たちの所に来てくださったので、私たちは、再び神様とつながることができるようになりました。神様はご自分の民に、罪のない「小羊」を犠牲としてささげるようにお命じになり、このことを通して、罪のないイエス様が、私たちの罪を負ってくださることを教えられました。旧約聖書の中で、神の民が祭壇を建てて小羊を犠牲として捧げ、神様を礼拝した記録を読むことができます(創世記8章20節、12章7～8節、22章12～13節を参照)。神様は、人間が罪の問題をどう取り扱ったらよいのかを、ご自分の民に示してくださったのです。私たちのすべき方法は、神様を礼拝し、神様に犠牲を捧げ

ることです。そうすれば、神様は私たちの罪を赦し、罪を取り除いてくださいます。

神様が、イスラエルの民をエジプトから救い出されたとき、その道中で、神様の存在を多くのかたちでお示しになりました。十の災い、紅海（海）を渡る経験、道を指し示す雲の柱や火の柱、シナイ山での十戒— これらすべては、神様が神の民に対して意思を伝える方法でした。さらにもう一つ、神様がシナイ山でお命じになったことは、聖所— 神殿と呼ばれることもある— を作る計画を与えたことでした。このことについては、出エジプト記 25 章 8 節を読んでみましょう。

（一人の生徒に読ませ、話し合いの後で、聖句シート 4 に言い換えた言葉を書かせます。）

Ⅰ. 出エジプト記 25 章 8 節： 聖所の目的は、神様が共にいることを 神の民がわかることでした

神様は、聖所を作らせることによって、神の民にご自分がどんな方であるかをさらにお示しになりました。聖所は、神の民がいつでも見て、触れることができ、神と一緒にいる平安を与えました。神様は、毎日の活動を通して、民が神様を忘れないようにし、週に一度の安息日には神様を礼拝するために集まり、また年毎の宗教的なお祭りを始められました。

毎朝、毎夕、祭司たちはグループ全体のために犠牲を捧げ、神様が日毎に私たちを救ってくださることを思い起こさせました。民自身も、彼らの罪を神様に告白し、神様の赦しの賜物と罪からの清めを受けるために、小羊を犠牲として捧げました。毎週安息日には、民は普段とは違う一日を過ごします。安息日は、一日中神様に礼拝を捧げたからです。それは、神様がどんなお方であるかを思い起こし、また、民自身が「神様の子ども」であることを忘れないでいるためでした。

神の民は、年に七つの宗教的なお祭りを祝いました。その中には、過ぎ越しの祭り、五旬祭、贖いの日などがありました。これを毎年行うことによって、神の民は、彼らの過去、現在、未来における神様の働きを思い起こしました。

聖所は、神様がどんなお方であるかを示す象徴で満ちあふれていました。ワークシート 4 を開いて、項目 2 に書かれている、モーセの時代の荒野の聖所を見てください。次の聖句のあとにまた戻って来ますが、まずはみなさんに見ておいて欲しいのです。

（ワークシート 4 の項目 2 を短く見るよう指示しましょう。詳しい説明は、後でいたします。）

旧約聖書に書かれているのと同じ聖所が、新約聖書の終わりの場面でも登場します。この 2 つの聖所は、同じところもあれば、違うところもあります。ヘブライ人への手紙 8 章を開いて読んでみましょう。

Ⅱ. ヘブライ人への手紙 8 章 1、2、5 節： 地上の聖所は、天の聖所に似ています。

神様は、ご自分の民に対して、象徴を用いて意思を伝えました。神様が民と共に住むために、モーセに聖所を建てるように命じられたとき、神様は、人々が天幕に住むのと同じように、聖所も天幕の

かたちに作るように言われました。後の時代、ソロモンが神様の神殿を建てたときには、人々がもはや砂漠の天幕ではなく、恒久的な家を建てたのと同じように、聖所も永久的な構造の建物にするようにお命じになったのです。しかし、神様は御自分と民について、教えるもう一つの方法として、ある象徴を用いて明らかになさいました。

ヘブライ人への手紙8章1、2、5節を読んで、ここに書いてあることに注目しましょう。

(一人の生徒に聖句を声に出して読ませ、言葉の言い換えをして話し合いをしましょう。これは、少し複雑になります。なぜならこの聖句の場所は、新しい、より素晴らしい契約の大祭司としてのイエス様が優れていることを示しているからです。この聖句は、天にあるものは、地上にあるものよりも優れていることを指摘しています。)

旧約聖書の祭司は、神様と神の民をつなぐための大事な役割を果たしてきたことを聞いたことがあるかもしれません。祭司の働きとは、私たちと神様とをつなげる、イエス様の来臨を象徴していました。

さらに神様は、神の聖所に特定の意味を持たせられました。出エジプト記25～30章には、そのことについて詳細に書かれています。地上の聖所は、天の聖所と似ています。それは、写しあるいは、ひな形とも呼ばれます。(旧約聖書のヘブル語 tabnith から来ている。出エジプト記25章9節を参照。また、新約聖書のギリシャ語 tupos に似ています。ヘブライ人への手紙8章5節を参照)。ワークシート4の項目2に戻って、荒野の幕屋の略図を見てみましょう。項目3は、荒野の聖所の異なった部分を記しています。それぞれが、象徴しているものを記入します。

(ワークシート4の項目2と3に答えさせましょう。それぞれの道具が本来持っている意味、そしてそれらが象徴する、霊的な意味が理解できるように助けます。例えば、「燭台」は、聖所の中を明るく照らしましたが、それは、霊的な意味では、イエス様が私たちを明るく照らしてくださるので、私たちは安心して人生を歩むことができる、ということ象徴しています。生徒同士の話し合いのために時間を取りましょう。聖所の各部分は、日常的な神様の助け、という側面を私たちに教えてくれます。象徴は、それを理解したときに力になるのです。天の燭台と、荒野の幕屋の燭台とが同じである、というような字義通りに考える「わな」に陥らないようにしましょう。ソロモンの神殿には、燭台が10個ありました。南側に5つ、北側に5つ [歴代誌下4章7節] です。思い出してください。ヨハネが描いたイエス様は、7つの燭台の間を歩いておられます [ヨハネの黙示録1章12、13節])。

これらが、荒野の聖所が示す象徴です。

焼きつくす供え物の祭壇 = イエス様の死。

洗盤 = 罪の赦しとバプテスマ。

供え物のパン机 = 命のパンとしてのイエス様。

燭台 = 世の光としてのイエス様。

香の祭壇 = 神様に対する私たちの祈り。

遊び：香の光景と匂い

お香に火をつけて、天に昇って行く私たちの祈りのたとえとして生徒たちに見せてください。私たちは、普段、匂いを神様と関係して活用しませんが、神様は用いられました！焼きつくす供え物の祭壇から火が燃え上がり、炭は香を燃やし、香りを放つことを通して、神様に対する私たちの祈りのイメージを作り上げました（香の祭壇からは、覆いを通して、至聖所へ）。私たちは、香りを一緒に記憶することがあります。

途中説明：聖所ではこれらのことが実際に行われていました。このことは、神の民が神様のお姿をよりよくイメージするための助けとなりました。聖所の他の部分についても考えてみましょう。

- 契約の箱 = 神様の玉座。
- 中庭 = イエス様の贖い —いかに、イエス様が私たちに近づいてくださるか。
- 聖所 = イエス様が毎日私たちのためにしてくださっていること。
- 至聖所 = 裁きと罪の一掃。

私たちは、顔と顔を合わせて神様を見ることができません。しかし、神様がデザインされた聖所の象徴を理解することによって、もっと神様についてたくさんを知ることができます。特にイエス様が私たちのためにしてくださった数々の出来事を。

遊び：私の友だちを見ましたか？

私の友だちについて、みんなに調べてもらうゲームです。他の生徒は、私の友人に会ったことはありませんが、友達の写真を見せて、いろいろなことを発見してもらいます。

（一人の生徒の友だちの写真を見せて、他の生徒たちが写真から何を発見するかに注目してください。多くのことが見つけられるような写真を選んでください。）

途中説明：「百聞は一見にしかず」。私たちは写真を見ることによって、多くのことを知ることができます。セブンスデー・アドベンチストの先駆者にとっては、「聖所」こそが神様の姿を力強く印象付けるものでした。

Ⅲ. ダニエル書8章14節： 2300日（／年）の後に、天の聖所が「清められる」

セブンスデー・アドベンチスト教会が始まる少し前、ニュー・イングランド州の人々の多くは、イエス様の再臨が1844年10月22日にあると確信していました。なぜ、彼らはこのような確信を持っていたのでしょうか？ どのようにして、日付の特定に至ったのでしょうか？ 一つの意義深い聖句が彼らをこの結論に導いていました。それは、ダニエル書8章14節です。みんなで読んでみましょう。

（一人の生徒に読ませ、全員にそれがどのような意味なのかを尋ねます。）

キーワードは、「2300日」「聖所」「清められる」です。ダニエル書とヨハネの黙示録の大部分のように、聖書が象徴的に語っているときは、1日は1年を表します（エゼキエル書4章6節と民数記14章34節を参照）。ですから、2300日は2300年を表します。ダニエル書9章の預言を計算したところ、2300年は、1844年10月22日に終わると結論付けられたのです。

しかし、ダニエル書8章14節で言われているのは、天の聖所のことです。1844年にイエス様が再臨すると期待していた人々は、ダニエル書が言っている聖所を、地上のことであると思い違いしてしまいました。彼らは、この日イエス様が地球においでになり、この地を清めて、贖いの日のように、罪が永遠に取り除かれる裁きの日であるを行われると理解してしまったのです。

「清められる」と翻訳されている単語には、幾つかの意味があります。それらは「正義」「正しい」「清められる」「純粋な」「回復される」などです。さらなる研究により、セブンスデー・アドベンチストは、これを再臨前の裁きを意味している、と理解するようになりました。サタンは、神様が公正な方ではないと非難し、私たち人間は天国に入る資格がない、と非難し続けてきました。ダニエルは、将来神様がすべての罪を取り除かれる、という約束を受け取りました。それは、本当によい知らせです！

深い意味のある聖句を読んで考えてきましたが、聖句シートに、あなた自身が言い換えた言葉を記入してみましょう。

（学んだポイントを復習する準備をしましょう。さらに詳しく説明するかどうかは、先生が決めてください。）

旧約聖書の時代の聖所には、三つの種類の「清め」（あるいはもう一度正しい状態にする）がありました。

1. 罪が永遠に除かれることを象徴する、毎年贖いの日
2. 人々が神様の神殿を異教の礼拝に用いたとき、それを、正しい状態にする必要があるとき。
3. 神殿が修復を必要とするとき。

（贖いの日の清めについては、レビ記16章を読んでください。生徒たちへの具体的な例としては、

- ・3学期の終わりに教室や机をきれいにすること
- ・家の改築やリフォームをすること

が、分りやすいでしょう。異教の汚れからの清めが必要なことについては、列王記下16章10～16節、21章4節、エレミヤ書23章11、14節を参照。ユダヤ教のハヌカは、この種の清めをお祝いするものです。神殿の修復が必要なときの例は、列王記下22章3～23章20節を参照。）

このように、神様の聖所は定期的に清められる必要がありました。ダニエルには、未来の清めに関する幻が与えられました。セブンスデー・アドベンチストは、これを「神様の最後の裁きは近く、罪は永遠に取り除かれる」という重要なメッセージであると解釈してきました。

IV. マルコによる福音書 11 章 15～17 節： イエス様は、神殿（宮）を清められました。

聖所の清めとして最も有名な出来事は、イエス様が地上におられたときに起こりました。イエス様は、公生涯の初め（ヨハネによる福音書 2 章 13～16 節）と終わり（マタイによる福音書 21 章 12～14 節、マルコによる福音書 11 章 15～17 節、ルカによる福音書 19 章 45～46 節）に行われました。イエス様の時代の神殿には市場があり、宗教指導者はそこでお金もうけをしていました。神殿の中です！ ワークシートの項目 4 を見てみましょう。ここに、イエス様の時代の神殿がどのようなであったかが図で表されています。両替所や動物の市場は、「異邦人の中庭」にありました。イエス様の時代の神殿である「ヘロデの神殿」とモーセの時代の荒野の幕屋では、どこが違って、どこが同じでしょうか。

（項目 2 と項目 4 を比べてみましょう）

（2つの神殿の比較ができるように生徒を助けましょう。荒野の幕屋の後、ソロモン王が美しい神殿を建てましたが、紀元前 600 年ごろにバビロニア人によって破壊されました。バビロニア捕囚に続き、紀元前 500 年ごろに、ゼルバベルの指導の下で再び神殿が建てられました。ヘロデの神殿は、この神殿を改築し、拡大したものでした。イエス様の時代の宗教指導者たちは、「ヘロデの神殿」を建てるのに 46 年かかったと主張しました（ヨハネによる福音書 2 章 20 節を参照）。ヘロデの神殿は大きく、階層構造になっていました。至聖所が最も高い階にあり、そこから位ごとに徐々に低く離れていきました。「イスラエルの中庭」は、男性だけが入ることができ、祭司の階に次ぐ高さにありました。女性は低い階にしか入ることができず、男性とは遠く離れていました。ユダヤ人でない民衆は「異邦人」と呼ばれ、彼らが入ることが許された場所は、ユダヤ人の女性よりもさらに下の階でした。ユダヤ人は標識を立てて、もし異邦人が「異邦人の中庭」より中に入ってきたならば、彼らをとらえて殺すことができる、自業自得であると明記しました。だから、両替商と動物の商人たちは、「異邦人の中庭」で市場を開いていたのです。）

イエス様が、異邦人の中庭から両替商と動物の商人を追い出して、神殿を清められたときに、神殿では大きな騒ぎが起きました！ イエス様がしたことは、権力者にとって、彼らの顔に盗人のラベルを貼る行為でした。それでもイエス様は、異邦人の中庭を聖くされたのです。「教会は、決して変えられない」と主張する人がいますが、イエス様が現れたときには、神殿は確かに変わったのです！ もしあなたの教会に実際にイエス様が現れたら、どんなことが起きると思いますか？

（質問するときには、教会に対する不平にならないように気をつけましょう。若者は、教会のいくつかの伝統については理解できないことがあります。人々は、古い時代から続くしきたりに慣れてしまい、当時の人々が正しいと考えたことが伝統になっていきます。ですから、必ずしも正しいことに基づいて伝統を作っているわけではありません。宗教は、しばしば時代を経て悪くなることもあるの

はそのためです。しかし、若者たちの言い分がすべて正しいわけではなく、彼らは伝統に縛られたくない傾向をもっています。教会をすべての人の祈りの家にするために、イエス様が願っておられる「清め」を行うために、生徒たちができることについて話し合しましょう。）

旧約聖書の時代には、聖所と至聖所は、聖所の一部でした。イエス様が、それを正しい状態にするために聖所を「清められた」ときに、大きな変化がもたらされました。ユダヤ人の指導者や、イエス様の弟子たちでさえ、聖所の建物を重要視しましたが、イエス様は、神ご自身が建物よりも偉大であると教えられたことによって、「伝統」に挑戦されたのです（マタイによる福音書 12 章 6 節を参照）。イエス様は神殿を壊し、それを三日のうちに立て直す、と約束なさいました。イエス様がおられるならば、神様とお会いするためには聖所も神殿も必要ないのです。イエス様ご自身が神様だからです！

V. マタイによる福音書 18 章 20 節： イエス様のみ名によって二人または三人が集まっているところには、イエス様が一緒におられます。

復活のあとで、イエス様は天にお帰りになりました。これには、いくつかの疑問が起きるかもしれません。しばらくの間、良く考え、そして考えたことを教えてください。今、聖所に関して、私たちは何をすべきでしょうか？ 神様は今どこに住んでおられるのでしょうか？ 私たちが神様を探し求めるとき、どこで見つけることができるのでしょうか？

（しばらく、考える時間を取り、そのあとで発表してもらいましょう。具体的思考者は、現実と認めるのに触ったり、見たり、聞いたりする「何か」が必要なので、とても難しいかもしれません。生徒たちの答えによっては、次のセクションをどのように扱うかに影響するかもしれません。ワークシートの質問 6 と 7 をさせてもよいでしょう。）

私たちは教会に行き、時々、その場所を神様の家と呼びます。パウロは、コリントの教会員に（コリントの信徒への手紙 1・3 章 16 節）「あなたがたは神の宮であって、神のみ霊が、自分の内に宿っているのを知らないのか」と言いました。神様の聖霊は、建物の中ではなく、神様に従う者たちの内側に住まわれるのです。旧約聖書の時代には、神様は聖所に住まわれました。新約聖書の時代には、神様は、イエス様と神様の民の心の「宮」に住まわれるように変わったのです。

聖所に関する聖書の学びの最後の聖句を読んでみましょう。マタイによる福音書 18 章 20 節です。（一人の生徒に読んでもらい、他の生徒に言い換えた言葉で発表してもらいます。そして、聖句シートに自分の言い換えた言葉を書かせます。神様の御名によって共に集まっている場所には、神様が住まわれるという事について、しばらく、話し合いをしてみましょう。これはつまり、私たちの聖書の学びの間も、イエス様が一緒におられた、ということです！）

これは、驚くべきことではないでしょうか？ 今では聖所、つまり神様がお住みになる所とは、神様の民がいるすべての場所なのです。安息日に神様の民が教会に参加するとき、神様はそこにおられます。神様の民が教会を出て社会へ戻っていくとき、神様は彼らと一緒に出て行かれるのです。私たちは、教会を「聖なる場所」と呼ぶかもしれませんが、もし神様があなたと一緒におられるなら、あなたがどこに行ったとしても、その場所が「聖なる場所」になるのです。今や神様の聖所は、一つの

場所に限定されないのです！

結論

一番大切なことは、神様が、私たちと一緒にいたいと願っておられるということです。この世界に罪が入ってきてからも、神様はずっと、私たちと共にいらっしゃいました。しかし、エデンの園で目の前にいらっしゃったのとは違う形です。イエス様は、ご自分の民に聖所を作らせ、ご自分の姿に関する良いイメージを与えようとされました。しかし、民はすっかり聖所の存在に慣れてしまったので、神様には「清め」「正しくし」「あるべき姿に戻す」必要が起きました。これらの事が何度も起き、それはいつの日か、神様が罪を消し去られる最後のときのために、すべてを正しくする、という事実を象徴することになりました。

イエス様が地球に来られた後、神様の聖所はもはや、「聖所」あるいは「神殿」と呼ばれる建物ではなくなりました。今や、聖霊が神様の民の中に住むときに、神様は彼らと一緒にいてくださるのです。神様はたった今も、私たちと一緒におられ、私たちを聖所となさるのです。

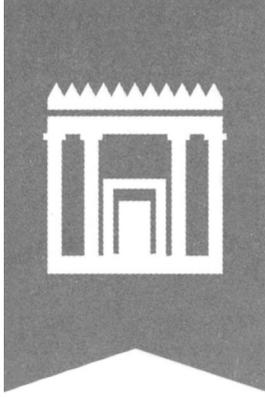
神様の聖所として、もう一度清められ、あるいは、正しくされる必要がありますか？ 一人ひとりのために今それをしてくださるように、私たちは神様にお願いすることができます。以前聞いたことがあるかもしれない「聖所」という讃美歌を歌うことによって私たちは祈り求めることができます。

(先生が歌をリードするか、誰かにリードしてもらいます。伴奏なしで歌うこともできます。一度歌うと、繰り返し歌いたいと思うかもしれません。歌詞はとてもわかりやすいものです)

「主よ、聖所となるように準備させてください。

純粋な、聖なる、信頼できる、真実な……。

感謝とともに、私はあなたのための生きた聖所となります。」



聖句シート4： 探し求める（聖所）

次の聖句を読んで、自分の言葉でまとめてみましょう。

1. 出エジプト記 25 章 8 節

2. ヘブライ人への手紙 8 章 1、2、5 節

3. ダニエル書 8 章 14 節

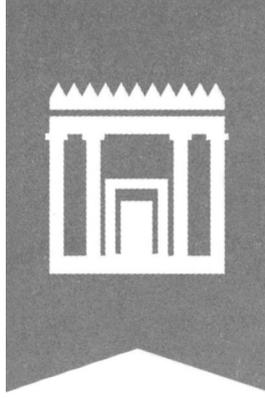
4. マルコによる福音書 11 章 15～17 節

5. マタイによる福音書 18 章 20 節

ワークシート4： 探し求める（聖所）

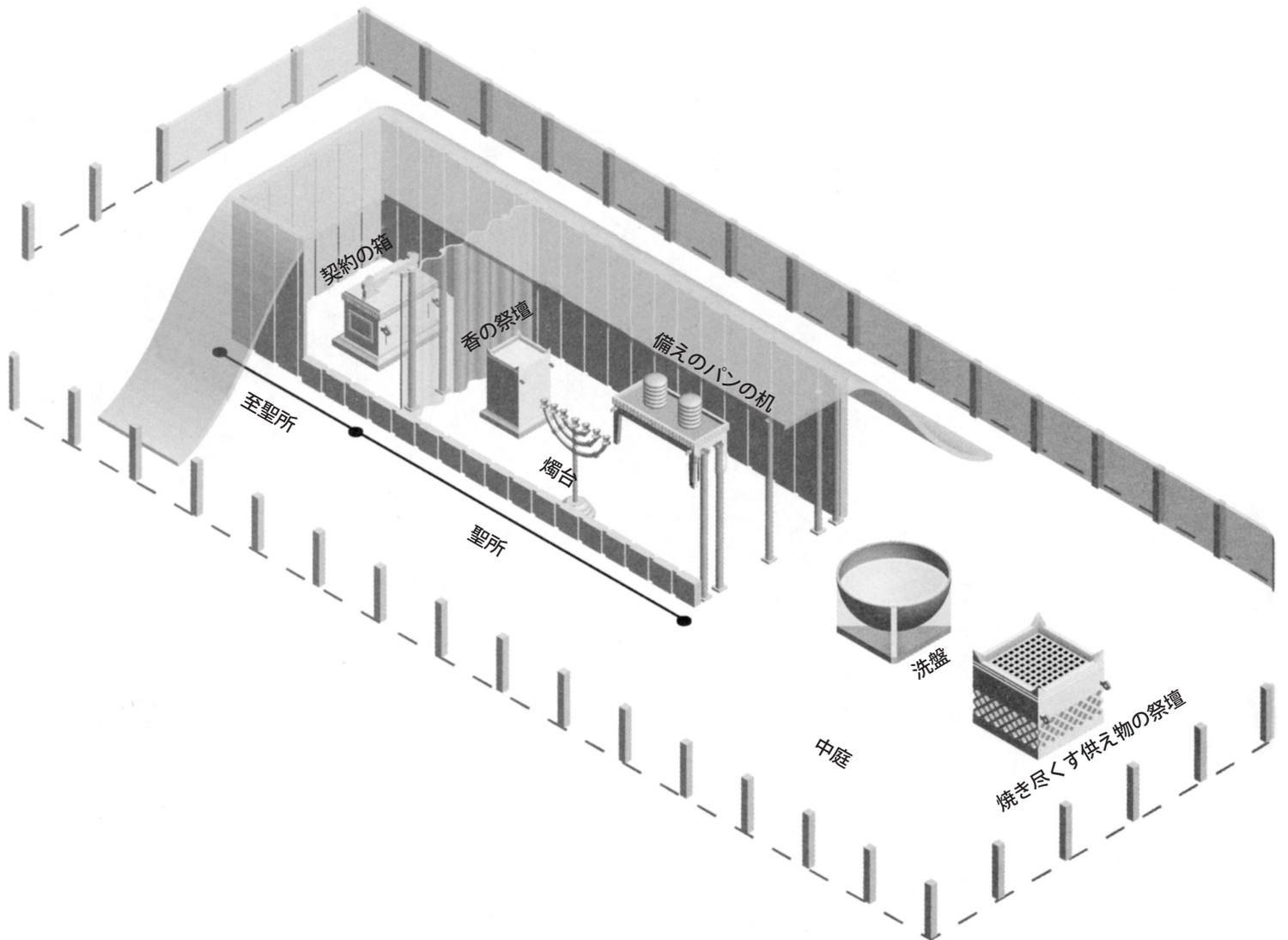


1. 神様がどんなおかたであるか、想像しながら絵に描いてみましょう。

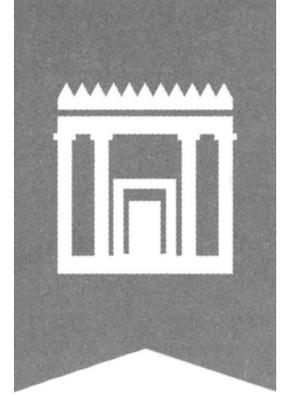


ワークシート4： 探し求める（聖所）

2. モーセの時代、荒野における聖所



ワークシート4： 探し求める（聖所）



3. 次の道具は、それぞれ何を表しているでしょうか？

焼き尽くす供え物の祭壇

洗盤

備えのパンの机

燭台

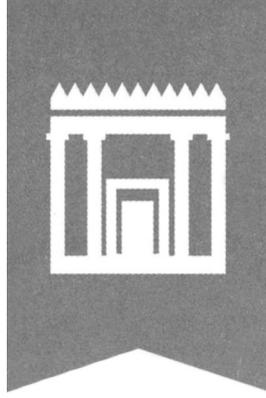
香の祭壇

契約の箱

中庭

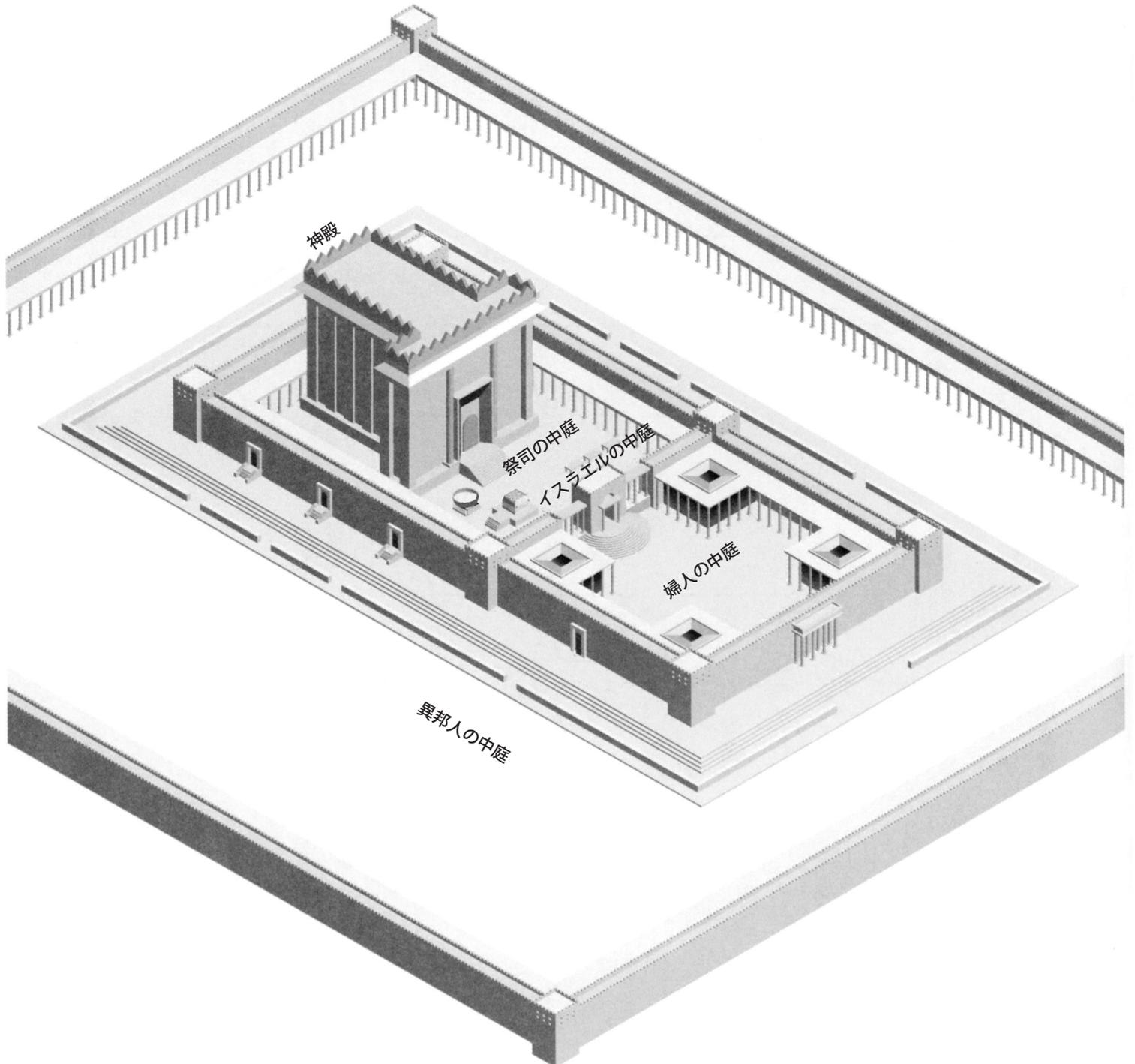
聖所

至聖所

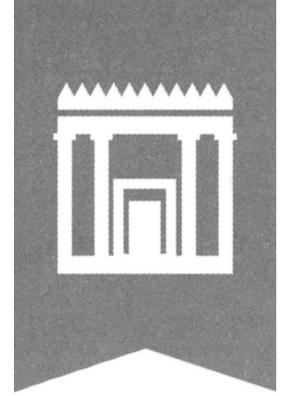


ワークシート4： 探し求める（聖所）

ヘロデの神殿



ワークシート4： 探し求める（聖所）



5. 荒野の神殿とヘロデの神殿で、
同じところはどこで、違うところはどこでしょう？

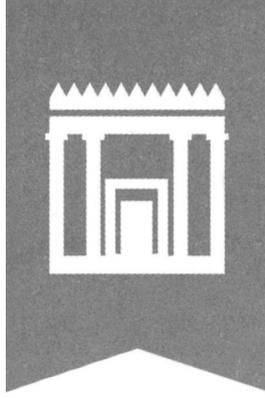
同じ

違い

<hr/>	<hr/>

6. 今、神殿はどこにありますか？

7. 今、神様はどこにいますか？



「家族で話そう」シート4： 探し求める（聖所）

1. あなたは、神様はどのようなおからだと思いますか？

2. あなたは、どこで神様を見つけましたか？

3. 神様は、いつでも、どこでも、私たちと一緒にいることが出来るのに、なぜ聖所を建てることを願われたのでしょうか？

4. 聖所のメッセージと聖所が表していることを要約すると、どのようにまとめることができますか？

5. 今日、家族から犠牲を運び込まなければならない、としたら、それは何でしょうか？

6. 今、神様の聖所はどこにありますか？

7. イエス様は、異邦人を招くことによって、他の指導者との違いを表しました。私たちも、普段あまり相手にされていない人々をどのように招くことができますか？

8. このテーマについて、他に質問や意見があれば書いてください。
